



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



学校の廊下 リニューアル！！

～用務員さんが汗だくで作業してくれました～

夏休みを利用し、用務員の鈴木新克さんが廊下をきれいにしてくださいました。一斉清掃ができていないという状況もありましたが、しばらく本格的な汚れ落としをしていない本校の廊下の汚れはかなりひどい状況でした。子どもの上ズックのゴムの跡などが黒く残り本来の色は？と思うほど汚れているところがあったのが現実でした。子ども達が時々、クレンザーなどで汚れ落としを試みることもありましたが、やはり限界があります。そこで、用務員さんが夏休みを利用し、3階+2階の途中までの廊下のリニューアルに取り組んでくれたのでした。（本当はすべての廊下を・・・と考えるべきでしたが、時間的に3階+2階の途中までが限度でした。）学校で眠っていた「ポリッシャー（床磨きの機械）」（なんと50年以上も前のものでした）を見つけ出し、汚れを落とし、乾燥させ、ワックスを掛けてくださったのでした。しかし、機械が古い分、作業もままならないところもありました。さらには、冷房の入らない暑い中での作業、長い長い廊下、ほとんど一人での作業・・・。そんな過酷な作業にもかかわらず、愚痴一つ言わずに汗びっしょりになって毎日毎日作業してくださいました。熱中症を本気で心配するほどでした。感謝・感謝・感謝しかありません。まさに+α。学校を、子どもを思う気持ちの表れです。

「なかなか汚れが落ちないところもあるんだよね。」

「ムラになってしまったところもあるけど・・・」

と謙遜されますが、本当に見違えるほどきれいになりました。

始業式の校長の話の中で子ども達にも紹介し、感謝の気持ちをもちながら、校舎を大切に使おうと話しました。用務員さんも北小を支える大事なスタッフであることをあらためて感じています。

本当にありがとうございました。

子ども達の善意の募金～やさしい気持ちありがとう～

1学期末に JRC 委員会が中心となって取り組んだ熊本県・大分県の被災を中心とした「令和2年7月豪雨災害義援金」活動。夏休みに担当が全額日本赤十字社に全額振り込みました。

集まった額は **26434円** にもなりました。

集まった額の大きさではなく、この活動そのものが、子ども達の優しい気持ちの集まりであることが大変嬉しく感じています。自分のことだけでなく周りに目を向けられたこと、困っている人のために自分なりにできることを考え、行動したこと。本当に素晴らしいことだと感じています。優しさの輪が北小にもっともっと広がりますように。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切り取り線